



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 芦森工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 3526 URL <https://www.ashimori.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鷲根 成行
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 七澤 一真 TEL 06-6105-1863
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	31,182	7.2	1,085	144.1	1,589	36.0	1,294	24.9
2023年3月期第2四半期	29,087	20.3	444	—	1,169	—	1,036	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,567百万円 (86.1%) 2023年3月期第2四半期 842百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	215.56	215.11
2023年3月期第2四半期	172.58	172.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	51,950	19,722	37.9
2023年3月期	51,552	18,452	35.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 19,675百万円 2023年3月期 18,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	3.6	2,800	30.1	3,000	7.3	1,800	76.9	299.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	6,056,939株	2023年3月期	6,056,939株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	51,336株	2023年3月期	50,838株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	6,005,799株	2023年3月期2Q	6,005,246株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、自動車生産が回復基調にあり、管路更生工事の需要も堅調で、比較的良好な状況にあります。しかしながら、自動車安全部品事業においては、世界的なEV化の加速に伴い中国他一部地域において日系自動車メーカーが苦戦しており、生産の大きな変動要因となっています。また、管路更生事業においても、原材料費の高止まりに加えて、人件費の上昇により工事要員の確保が困難になるなど、先行き不透明な状況が続いています。

このような情勢のなか当社グループは、可能な限りのリスク対策を講じながら、生産性の向上やコスト低減活動の強化、及びグループを挙げた品質の向上と維持に取り組むとともに、適正な収益の確保や成長が見込まれる分野・地域への拡販を推進し、収益力の向上に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は31,182百万円（前年同期比2,095百万円の増収）となり、第2四半期連結累計期間としては過去最高の結果となりました。損益面も大きく改善し、営業利益は1,085百万円（前年同期比640百万円の増益）、経常利益は1,589百万円（前年同期比420百万円の増益）となり、いずれも第2四半期連結累計期間としては過去最高の結果となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,294百万円（前年同期比258百万円の増益）となりました。

当社は、経過措置を適用して東京証券取引所プライム市場に上場してまいりました。上記の通り業績は順調に推移しておりますが、当社は流通株式時価総額および1日平均売買代金についてプライム市場上場維持基準を充たしておらず、2023年4月1日付東京証券取引所の規則改正で経過措置の取り扱いが明確化され、プライム市場上場を継続した場合、上場廃止となるリスクを否定できないため、2023年10月20日にスタンダード市場へ移行いたしました。

なお、今回の市場変更は当社の経営方針に影響を与えるものではなく、当社は市場区分に関わりなく、持続的な利益成長と財務基盤の強化により企業価値を向上させてまいります。

以下、各事業のセグメント別概況についてご報告申し上げます。

当社は、事業本部制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車安全部品事業」「機能製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

①自動車安全部品事業

当第2四半期連結累計期間では、一部の顧客および地域で生産調整の影響がありましたが、円安効果と原材料費の市況変動分の一部を売価に転嫁した結果、シートベルト関連、エアバッグ関連において前年同期比増収、内装品関連では前年同期並みとなりました。

この結果、当事業の売上高は23,961百万円（前年同期比3,037百万円の増収）となり、損益面も大幅に改善し、営業利益は1,127百万円（前年同期比1,119百万円の増益）となりました。

引き続き、原材料費の上昇や生産変動のリスクはありますが、固定費削減、経費削減などの収益改善施策を進めてまいります。

また、2023年7月28日に公表しましたとおり、豊田合成株式会社との資本業務提携の強化に向けた基本合意書を締結しました。日本毛織株式会社が保有する当社株式を同社が譲り受けて、協業における両社の役割分担を明確にした上で、エアバッグとシートベルトのセット開発による拡販、部品の共同調達、生産拠点を含めたリソースの有効活用等を加速し、収益拡大に繋げてまいります。

②機能製品事業

パルテム関連（管路更生事業）は、前年度からの繰越工事高が少なかったことから、当第2四半期連結累計期間では売上高は前年同期を下回りました。上期後半より受注は活発化してきており、着実な工事の消化やライセンサーと連動した販売促進活動などを、積極的に展開してまいります。

防災関連は、低圧力損失ホースの拡販や石油コンビナート向け大口径ホースの納入により、前年同期比増収となりました。

産業資材関連は、トラック生産の増加に伴い物流省力化分野が回復基調にありますが、全体では低調に推移し、前年同期並みの実績になりました。

当事業全体では、パルテム関連の占める割合が大きいため、売上高は7,203百万円（前年同期比941百万円の減収）、営業利益は311百万円（前年同期比407百万円の減益）となりました。

③その他事業

当事業の売上高は17百万円、営業利益は7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は51,950百万円であり、前連結会計年度末に比べ398百万円増加しました。これは主に現金及び預金の増加477百万円、売上債権の減少1,710百万円、棚卸資産の増加2,166百万円等が影響したものです。

負債は32,228百万円であり、前連結会計年度末に比べ872百万円減少しました。これは主に長期借入金の増加5百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加355百万円、短期借入金の減少243百万円、仕入債務の減少1,635百万円等が影響したものです。

純資産は19,722百万円であり、自己資本比率は37.9%（前連結会計年度末は35.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月10日）発表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,423	4,901
受取手形、売掛金及び契約資産	13,105	11,707
電子記録債権	1,653	1,340
商品及び製品	1,977	2,677
仕掛品	1,376	1,450
原材料及び貯蔵品	8,008	9,400
その他	2,015	1,444
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	32,552	32,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,289	5,614
機械装置及び運搬具(純額)	3,077	3,190
工具、器具及び備品(純額)	1,283	1,250
土地	5,790	5,843
リース資産(純額)	56	49
建設仮勘定	312	148
有形固定資産合計	15,810	16,095
無形固定資産		
のれん	598	516
その他	274	307
無形固定資産合計	872	824
投資その他の資産		
投資有価証券	1,326	1,468
繰延税金資産	366	116
退職給付に係る資産	299	312
その他	341	237
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	2,317	2,117
固定資産合計	19,000	19,037
資産合計	51,552	51,950

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,411	5,951
電子記録債務	5,102	4,926
短期借入金	2,254	2,011
1年内返済予定の長期借入金	2,614	2,970
リース債務	18	13
未払金	1,095	1,330
未払法人税等	267	150
未払消費税等	393	125
賞与引当金	568	681
役員賞与引当金	24	—
製品保証引当金	112	67
その他の引当金	70	23
デリバティブ債務	—	698
その他	1,566	1,625
流動負債合計	21,501	20,577
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	6,429	6,435
リース債務	50	46
退職給付に係る負債	1,995	2,050
製品保証引当金	10	4
資産除去債務	29	29
その他	84	84
固定負債合計	11,599	11,651
負債合計	33,100	32,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,388	8,388
資本剰余金	1,632	1,632
利益剰余金	7,985	8,980
自己株式	△148	△149
株主資本合計	17,857	18,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266	392
繰延ヘッジ損益	—	△698
為替換算調整勘定	194	1,038
退職給付に係る調整累計額	95	92
その他の包括利益累計額合計	556	823
新株予約権	20	23
非支配株主持分	17	23
純資産合計	18,452	19,722
負債純資産合計	51,552	51,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	29,087	31,182
売上原価	25,459	26,518
売上総利益	3,628	4,664
販売費及び一般管理費	3,183	3,579
営業利益	444	1,085
営業外収益		
受取利息	5	11
受取配当金	15	17
受取賃貸料	18	23
為替差益	698	533
助成金収入	50	15
その他	73	52
営業外収益合計	862	654
営業外費用		
支払利息	75	100
持分法による投資損失	33	36
その他	28	13
営業外費用合計	137	149
経常利益	1,169	1,589
特別利益		
投資有価証券売却益	—	132
土地売却益	4	—
特別利益合計	4	132
税金等調整前四半期純利益	1,173	1,722
法人税、住民税及び事業税	175	219
法人税等調整額	△37	202
法人税等合計	137	421
四半期純利益	1,036	1,300
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,036	1,294

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,036	1,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	126
繰延ヘッジ損益	△800	△698
為替換算調整勘定	531	821
退職給付に係る調整額	6	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	54	21
その他の包括利益合計	△194	267
四半期包括利益	842	1,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	842	1,561
非支配株主に係る四半期包括利益	0	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,173	1,722
減価償却費	956	856
のれん償却額	81	81
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	9	△0
受取利息及び受取配当金	△20	△28
支払利息	75	100
為替差損益 (△は益)	△524	△156
持分法による投資損益 (△は益)	33	36
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△132
土地売却損益 (△は益)	△4	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,896	2,128
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△388	△1,534
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,262	△2,154
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	155	750
未払金の増減額 (△は減少)	△70	229
未払消費税等の増減額 (△は減少)	147	△267
その他	132	△183
小計	2,392	1,446
利息及び配当金の受取額	22	28
利息の支払額	△75	△100
法人税等の支払額	△172	△435
法人税等の還付額	266	40
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,433	979
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4	△17
定期預金の払戻による収入	1	144
有形固定資産の取得による支出	△902	△551
有形固定資産の売却による収入	146	34
無形固定資産の取得による支出	△28	△50
投資有価証券の取得による支出	△21	△6
投資有価証券の売却による収入	—	158
貸付金の回収による収入	0	—
その他	6	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△801	△287
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,688	△480
長期借入れによる収入	2,911	1,700
長期借入金の返済による支出	△1,018	△1,355
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	—	0
リース債務の返済による支出	△36	△12
配当金の支払額	△150	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	17	△448
現金及び現金同等物に係る換算差額	146	239
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,796	481
現金及び現金同等物の期首残高	2,181	4,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,978	4,883

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	自動車 安全部品 事業	機能製品 事業	計				
売上高							
自動車安全部品	20,924	—	20,924	—	20,924	—	20,924
パルテム	—	5,059	5,059	—	5,059	—	5,059
防災	—	607	607	—	607	—	607
産業資材	—	2,478	2,478	—	2,478	—	2,478
その他	—	—	—	15	15	—	15
顧客との契約から生 じる収益	20,924	8,145	29,069	15	29,085	—	29,085
その他の収益	—	—	—	2	2	—	2
外部顧客への売上高	20,924	8,145	29,069	17	29,087	—	29,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	20,924	8,145	29,069	17	29,087	—	29,087
セグメント利益	8	718	727	7	734	△290	444

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業と売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△290百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	自動車 安全部品 事業	機能製品 事業	計				
売上高							
自動車安全部品	23,961	—	23,961	—	23,961	—	23,961
パルテム	—	3,513	3,513	—	3,513	—	3,513
防災	—	1,126	1,126	—	1,126	—	1,126
産業資材	—	2,563	2,563	—	2,563	—	2,563
その他	—	—	—	14	14	—	14
顧客との契約から生 じる収益	23,961	7,203	31,165	14	31,180	—	31,180
その他の収益	—	—	—	2	2	—	2
外部顧客への売上高	23,961	7,203	31,165	17	31,182	—	31,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	23,961	7,203	31,165	17	31,182	—	31,182
セグメント利益	1,127	311	1,438	7	1,446	△361	1,085

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業と売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△361百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。